

『夢梅華館日記』 翻刻（第三十～三十一巻）

陳 捷

*キーワード

『夢梅華館日記』・孫点・日中文化交流

【解題】

本稿は本誌第 32 号～35 号に掲載されている『夢梅華館日記』翻刻（第十九～二十二巻）、「『夢梅華館日記』翻刻（第二十三～二十五巻）」、「『夢梅華館日記』翻刻（第二十六～二十七巻）」、「『夢梅華館日記』翻刻（第二十八～二十九巻）」に続き、中国の文人孫点の自筆稿本『夢梅華館日記』（上海図書館歴史文献センター所蔵）第三十～三十一巻を翻刻したものである。時期としては、光緒十六年正月初一日（西暦 1890、日本明治 24 年 1 月 21 日）から光緒十六年八月十日（西暦 1890、日本明治 23 年 9 月 23 日）までの八カ月間の部分である。撰者の孫点および本資料の価値について、本誌第 32 号掲載分の解題を御参照頂ければ幸いである。

【凡例】

本稿は上海図書館歴史文献センターに所蔵されている孫点の自筆稿本『夢梅華館日記』第三十、三十一巻の翻刻である。翻刻に当たり原文の明らかな誤字は（ ）に入れて、その後に（ ）で正しい文字を入れ、脱字は [] 中で補い、衍字は < > で記した。原文の空格の箇所は□□で示した。なお、孫点は古字をよく使用し、日記中の異体字も多いが、翻刻の際には通用の漢字に統一した。中国語読者にも利用しやすいように、文字・句読点は基本的に旧漢字と中国式の標点符号を用いることにした。

Rights were not granted to include this image in electronic media. Please refer to the printed journal.